

# シンポジウム 2025.12.16~2025.12.17



12月に、上級クラスの学生たちによるシンポジウムが開催されました。全体テーマを「科学技術の進歩は人類を幸福にするか」とし、「縄文人と現代人はどちらが幸せか」「経済の発展と自然保護は両立できるのか」「医学の進歩に伴い、生命倫理の問題とどう向き合うのか」「AIの発達で人類を幸福にするか」など幅広い分野での発表となりました。

当日は、学生たちが順にパネリストとしてグループ発表を行い、質疑応答や討論が活発に行われました。「私は縄文人になりたい、縄文時の方がストレスはなくて幸せだ」「私は便利な現代のほうがいい」と自分のこととして意見交換する場面もあり、盛り上がりました。



司会者やタイムキーパー、会場設営など、全て学生が担当し、学生主体で進んできたことに学生たちは満足そうでもありました。いつもとは違う一面を見せてくれた学生もあり、担当教師にとっても心が温くなる一日でした。

このシンポジウムは、論理的思考と発信スキルを高める「アカデミック・ジャパニーズ」授業の一環として行われ、実践的な活動として、この授業の総まとめの場となりました。シンポジウムまでの3か月間の授業では、必要な資料の読み取り、グループ討議、レポートの作成、発表や意見交換のための表現や発音の練習など、この科目の目的である思考力や様々な知識、スキルを身につけてきました。

シンポジウム後に行った「振り返り」の授業では、「たくさんの人の前で発表する自信がついた、話すことに自信がなかったがどんどん口を開いて練習することが大切だとわかった、もっと練習したいと心から思った、グループで助け合うことができて良かった」など前向きな意見が多く、この授業や活動を有意義に捉えていることが感じられました。

今後、進学後も社会に出てからも、今回の経験が役に立つことがきっとあると思います。ぜひ活かしてほしいと思います。

